

平成27年度支部事業実施概要

平成28年3月31日現在

1 国際救援活動の推進

(1) 災害や紛争、飢餓や病気などで苦しむ人々を救うためNHKと共同で「NHK海外たすけあい」キャンペーンを行い、青少年赤十字メンバーや赤十字奉仕団員が街頭募金活動を実施した。

実施日	12月13日(日)
活動場所	JR山形駅、イオン山形北店、イオンモール天童、ヨークベニマル東根店、ヨークベニマル新庄店、ヨークベニマル米沢店、ヤマザワ長井店、主婦の店PAL店、イオン三川店

(2) 本社が直接実施している海外での救援及び開発協力活動のうち、次の活動について、北海道・東北ブロック支部共同事業として資金の支援を行った。

・カンボジア、ミャンマー、東ティモールにおける救急法普及支援事業

2 災害救護活動の実施と体制の強化

(1) 医療救護班の編成と防災ボランティアの登録

県内9か所の自治体病院等に赤十字医療救護班を編成するとともに、赤十字救急法指導員からなる防災ボランティアを登録している。その状況は次のとおり。

① 医療救護班の編成

地区	市町村	医療機関	救護班員の登録状況					計
			医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事	
村山	山形市	山形県立中央病院	2名	2名	5名	1名	2名	12名
		山形市立病院済生館	1名	1名	2名		2名	6名
	東根市	北村山公立病院	1名	1名	4名	1名	2名	9名
	河北町	山形県立河北病院	1名	1名	2名		2名	6名
最上	新庄市	山形県立新庄病院	1名	2名	2名	1名	2名	8名
置賜	米沢市	米沢市立病院	1名	1名	4名	1名	2名	9名
	川西町	公立置賜総合病院	1名	1名	3名	1名	2名	8名
庄内	鶴岡市	鶴岡市立荘内病院	1名	1名	5名		2名	9名
	酒田市	日本海総合病院	1名	1名	2名		1名	5名
			10名	11名	29名	5名	17名	72名

② 防災ボランティアの登録

庄内地域	最上地域	村山地域	置賜地域	計
19名	2名	61名	10名	92名

(2) 『東日本大震災』救護活動

日赤山形県支部主催 東日本大震災復興支援事業「復興祭～みんなに元気を～」

実施日/場所	7月4日(土)	宮城県石巻市蟹田・内田地区仮設住宅	
	7月5日(日)	気仙沼市立小原木中学校仮設住宅	
参加者	奉仕団員等	27名	37名
	支部職員	10名	

3・11 東日本大震災復興支援活動

「復興支援募金活動」と「被災3県への寄せ書き作成」

実施日/場所	3月11日(金)	イオンモール三川	
		イオン米沢店	
		ヨークベニマル新庄店	
参加者	奉仕団員	36名	49名
	支部職員等	13名	

(3) 火災等の被災世帯への援護

火災等で住家が被災した世帯に対して、毛布・緊急セット等の救援物資並びに見舞金を交付した。また、災害による死亡者弔慰金を贈呈して被災世帯の援護を図った。

・被災者総数 98名(38世帯)

災害救援物資の配付	毛 布	96 枚
	緊急セット	35 個
	学用品セット	6 個
災害見舞金の交付 (全焼・全壊 31 件、半焼・半壊 5 件)		670,000 円
災害弔慰金の交付 8 件)		160,000 円

(4) 救護要員の育成

① 救護訓練の実施

非常災害時の救護活動体制を充実させるために、北海道・東北日赤7支部合同の災害救護訓練や支部主催訓練を行って、医療救護技術の向上と広域応援体制の強化に努めた。

・日赤山形県支部医療救護訓練

実施日	9月18日(金)	場所	山形ロジスティクス・センター	
参加者	医療救護訓練講師		2 名	25 名
	医療救護班	山形県立中央病院	4 名	
		山形市立病院済生館	1 名	
		山形県立新庄病院	5 名	
		米沢市立病院	7 名	
	血液センター職員		4 名	
支部職員		2 名		

○ 訓練内容

- ・カードを用いた救護所運営訓練
- ・START法・PAT法によるトリアージ
- ・災害救護用テントの設営訓練
- ・災害時の診療訓練
- ・情報伝達訓練(通信・記録)

・第一ブロック支部合同災害救護訓練

実施日	9月29日(火)～30日(水)	場所	福島県産業交流館 ビッグハレットふくしま	
全体参加者	救護班員、支部職員			140 名
山形県支部からの参加	医療救護班	山形県立新庄病院	5 名	18 名
		米沢市立病院	8 名	
	支部職員・防災ボランティア		5 名	

○ 訓練内容

- ・非常召集・集結訓練、情報収集・伝達訓練
- ・学習訓練(福島第一原発事故後の反省と救護活動ガイドライン)
- ・救護所設営訓練(ドラッシュテント展開訓練)
- ・実動訓練
 - ①急性期の災害救護訓練
 - ②無線通信訓練
 - ③避難所巡回診療訓練
 - ④こころのケア活動訓練
 - ⑤緊急被ばく医療チーム等による身体スクリーニングと簡易な除染訓練

②災害救護訓練への参加

県、市町村等の防災訓練に参加して、傷病者の受入れなどで、消防、自衛隊等関係機関との連携を図った。

・村山市総合防災訓練

実施日	4月19日(日)		場所	富本児童センター(村山市富本地区)	
山形県支部からの参加	医療救護班	北村山公立病院		8名	14名
	防災ボランティア			2名	
	支部職員			4名	

・山形県災害時医療救護訓練(庄内空港SCU設置・運用訓練)

実施日	8月8日(土)		場所	庄内空港	
山形県支部からの参加	医療救護班	山形県立中央病院		9名	11名
	支部職員			2名	

・山形市総合防災訓練

実施日	8月29日(土)		場所	霞城セントラル及び山形駅西口広場	
山形県支部からの参加	医療救護班	山形県立河北病院		6名	11名
	防災ボランティア			2名	
	支部職員			3名	

・山形県・上山市合同総合防災訓練

実施日	9月6日(日)		場所	三友エンジニア体育文化センター(上山市)	
山形県支部からの参加	医療救護班	北村山公立病院		8名	13名
	防災ボランティア			3名	
	支部職員			2名	

・米沢市総合防災訓練

実施日	10月4日(日)		場所	小野川温泉旅館組合駐車場(米沢市三沢地区)	
山形県支部からの参加	医療救護班	米沢市立病院		6名	9名
	支部職員			3名	

・新庄市総合防災訓練

実施日	10月18日(日)		場所	新庄市立日新小学校	
山形県支部からの参加	医療救護班	山形県立河北病院		4名	9名
	防災ボランティア			2名	
	支部職員			3名	

・長井市総合防災訓練

実施日	10月25日(日)		場所	長井市立豊田小学校グラウンド	
山形県支部からの参加	医療救護班	公立置賜総合病院		7名	12名
	防災ボランティア			2名	
	支部職員			3名	

③会議・研修会の開催

医療救護班との連携を深めるため会議を開催したほか、国、山形県並びに本社主催の各研修会に救護班員並びに職員を派遣した。

・ 救護班業務打合せ会議	(4/22	山形市)	15名
・ こころのケア指導者養成研修会	(6/20～22	東京都)	1名
・ 日赤災害医療コーディネーター研修会	(8/18～19	東京都)	1名
・ 日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会	(11/6	東京都)	3名
・ 都道府県災害医療コーディネーター研修会	(3/19～21	東京都)	1名

(5) 救援車の設置助成

災害時の救援活動や赤十字事業の推進を図るため、地区分区の救援車設置に助成した。

[助成先]: 真室川町分区

(6) 災害救護活動用器材の配備

災害時に実働的かつ迅速に救護活動を展開するために、地区分区に野外炊飯器を配備した。

[配備先]: 南陽市地区、尾花沢市地区

(7) 防災教育事業の推進

赤十字が独自に作成した防災プログラムを活用し、災害がもたらす様々な被害を最小限にとどめ、人びとのいのちと健康を守るための「防災・減災」に関する知識、技術の普及に努めた。

天童市仲町地域防災研修会

実施日	2月21日 (月)	場所	天童市仲町公民館
参加者	天童市仲町青壮年会員	48名	49名
	支部職員	1名	

酒田地区婦人防火クラブ連絡協議会総会

実施日	3月15日 (火)	場所	酒田市ひらたタウンセンター
参加者	酒田地区婦人防火クラブ会員	41名	43名
	赤十字奉仕団県支部委員会	1名	
	支部職員	1名	

3 救急法等の普及

(1) 講習の実施

各事業所、学校、サークル等からの開催希望に幅広く応じ、救急法等の講習会を積極的に実施した。

① 一般普及講習実施状況

(3月31日現在)

講習名	一般普及講習				短期講習		合計	
	養成講習		資格継続研修		実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数				
救急法	40回	898名	4回	37名	337回	10,121名	381回	11,056名
(内 基礎講習)	(24回)	(555名)	/		/		(24回)	(555名)
水上安全法	1回	10名	2回	11名	23回	715名	26回	736名
雪上安全法	—	—	—	—	1回	10名	1回	10名
幼児安全法	—	—	—	—	65回	1,236名	65回	1,236名
健康生活支援講習	—	—	—	—	3回	80名	3回	80名
合計	41回 (24回)	908名 (555名)	6回	48名	429回	12,162名	476回 (24回)	13,118名 (555名)
平成26年度同期	44回 (27回)	962名 (627名)	6回	24名	444回	11,232名	494回 (27回)	12,218名 (627名)

(2)指導員の育成

指導員を対象に、会議を開催し普及方針を確認した。

- ・ 救急法等指導員会議 (5/19 天童市) 28名

(3)指導員の登録

県民への普及活動に参加して、講習の指導を行っている登録指導員は次のとおり。

資格の種別	救急法	水上安全法	雪上安全法	幼児安全法	健康生活支援講習	計
指導員数	141名	22名	4名	41名	4名	212名

※登録者実数は、149名

4 青少年赤十字の普及と育成

(1)加盟校の登録

今年度については、小学校2校の新規加盟があった。 (3月31日現在)

地区	校種別 区分	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	特別支援 学校	小計 (F)	合計
		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(B+C+D+E)	
県全体	加盟校数	11園	92校	41校	27校	2校	162校	173校
	メンバー数	1,343名	20,194名	11,457名	706名	62名	32,419名	33,762名
	加盟率		35.2%	40.5%	42.8%	16.7%	37.0%	
村山地区	加盟校数	3園	33校	23校	13校	1校	70校	73校
	メンバー数	493名	8,810名	7,336名	329名	9名	16,484名	16,977名
	加盟率		30.2%	51.1%	52.0%	14.3%	37.6%	
最上地区	加盟校数	2園	18校	12校	1校	0校	31校	33校
	メンバー数	250名	3,482名	2,258名	0名	0名	5,740名	5,990名
	加盟率		78.2%	100.0%	14.2%	0.0%	72.0%	
置賜地区	加盟校数	4園	21校	5校	7校	0校	33校	37校
	メンバー数	334名	4,138名	1,414名	309名	0名	5,861名	6,195名
	加盟率		38.1%	22.7%	50.0%	0.0%	35.8%	
庄内地区	加盟校数	2園	20校	1校	6校	1校	28校	30校
	メンバー数	266名	3,764名	449名	68名	53名	4,334名	4,600名
	加盟率		27.0%	4.3%	35.2%	33.3%	29.1%	

* 27年度新規加盟校

1 最上町立月楯小学校

2 南陽市立荻小学校

計 2校

(2)諸会議の開催と派遣

青少年赤十字への理解と認識を高めるため、加盟校指導者を対象とした会議等を開催した。

- ・ 県指導者協議会理事・幹事会(第1回) (5/28 東根市) 22名
- ・ 全国指導者協議会総会 (6/26~27 東京都) 1名
- ・ 県指導者協議会理事・幹事会(第2回) (12/3 山形市) 22名

(3) 指導者の養成

青少年赤十字指導者の養成を図るため、各種研究会等を開催するとともに、本社主催の研修会に派遣した。

- ・青少年赤十字研究推進校発表会並びに指導者研究会 (5/28 東根市) 33名
- ・青少年赤十字指導者中央講習会 (11/21～22 東京都) 2名
- ・平成27年度青少年赤十字防災教育セミナー (12/3 山形市) 44名
- ・指導主事対象青少年赤十字研究会 (1/14～15 東京都) 1名

(4) 児童生徒メンバーの育成

青少年赤十字活動の中核となるリーダーの育成を図るため、研修会等を開催した。

- ・県高等学校青少年赤十字連絡協議会総会並びに研究集会

実施日	7月12日	場所	遊学館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会次期活動計画の協議および役員選出 ・各加盟校の活動状況の報告および意見交換 ・各種研修(本社主催研修、支部主催国際交流事業)参加報告 ・研究集会(日赤救急法指導員による搬送指導) 		
参加者	青少年赤十字高校生メンバー	100名	125名
	指導者(指導者協議会長、賛助奉仕団委員長、指導講師、加盟校教員)	20名	
	支部職員	5名	

- ・高等学校青少年赤十字トレーニング・センター

実施日	6月5日～7日	場所	ホテル樹林(蔵王温泉)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字の理念、国際人道法等についての学習 ・避難訓練 ・防災に関するワークショップ 		
参加者	青少年赤十字高校生メンバー	60名	78名
	指導者(加盟校教員、指導講師)	14名	
	支部職員	4名	

- ・小、中学校青少年赤十字トレーニング・センター

実施日	8月8日～10日	場所	山形県青年の家
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字の理念、国際人道法、防災等についての学習 ・野外活動および避難訓練 ・防災に関するワークショップ 		
参加者	青少年赤十字小、中学生メンバー	29名	48名
	指導者(加盟校教員、指導講師、救急法指導員)	15名	
	支部職員	4名	

(5) 書き損じはがき回収活動(カンボジア教育支援事業)

県高等学校青少年赤十字連絡協議会が中心となって、県内各小中高等学校等に呼び掛け、収集活動を展開したが、今年度はカンボジア国内の情勢を考慮し、カンボジアへの青少年赤十字メンバーの派遣を中止とした。回収した書き損じはがきは次年度の教育支援事業に充当する。

(6) 青少年赤十字国際交流受入事業

国際理解・親善を目的とし、大韓赤十字社大邱支社の中・高校生メンバー及び指導者との相互交流を行う。

【派遣】 韓国国内のMERSの影響を考慮、延期を予定していたが、今年度は中止。

【受入】 12/20～12/25 大韓赤十字社大邱支社青少年赤十字メンバー及び指導者 13名

(7) 研究推進校の委嘱

活発な青少年赤十字活動を推進するため、研究推進校として次のとおり委嘱している。

指定期間	学校名	テーマ
平成26年度～27年度	山形市立第三小学校	・ともに学び 豊かなくらしをつくる子どもの育成～子ども理解を大切にした授業の実践(6年次)
	長井市立伊佐沢小学校	・かかわりを大切にしながら思いやりのある行動ができる子どもの育成
	山形市立第十中学校	・繋がりを大切に、社会貢献しようとする生徒の育成
平成27年度～28年度	山形市立第八小学校	・自ら気づき・考え・実行することの育成～日々の授業と児童会を活動の柱として～
	村山市立富本小学校	・「いのち」を輝かせ 夢を育む子どもの育成

5 赤十字奉仕団の育成

(1) 赤十字奉仕団の登録

奉仕団の登録状況は次のとおり。

(3月31日現在)

種 類 別	団 数	種 員 数
地域奉仕団	43 団	5,145 名 (男性 809 名、女性 4,336 名)
特殊奉仕団	6 団	271 名 (男性 151 名、女性 120 名)
青年奉仕団	2 団	101 名 (男性 11 名、女性 90 名)
合 計	51 団	5,517 名 (男性 971 名、女性 4,546 名)

*27年度新規結成奉仕団

尾花沢市赤十字奉仕団

(2) 会議等の開催と派遣

奉仕団活動の推進を図るため、会議等を開催するとともに、各種会議等に奉仕団員を派遣した。

- ・赤十字奉仕団山形県支部委員会 (4/24 天童市) 9名
- ・赤十字奉仕団委員長会議 (4/24 天童市) 36名
- ・赤十字奉仕団中央委員会 (6/ 2～ 3 東京都) 1名
- ・全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会 (7/ 1～ 3 東京都) 1名
- ・赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会 (8/27～28 山形市) 25名
- ・臨時赤十字奉仕団委員長会議 (9/18 天童市) 23名
- ・第1ブロック支部赤十字奉仕団委員長会議 (10/29～30 山形市) 21名
- ・東日本大震災復興支援チャリティーバザー (10/31 山形市) 88名

*赤十字奉仕団山形県支部委員会主催

(3) 指導者の養成

リーダーの質的向上を図るため、本社主催の研修会に派遣した。

・青年赤十字奉仕団全国研究集会	(7/18～20 宮城県)	2名
・HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	(8/21～22 静岡県)	1名
・赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会(青奉)	(8/22～24 静岡県)	1名
・赤十字ボランティア・リーダー研修会(地域・特殊)	(9/26～28 東京都)	1名

(4) 団員の育成

奉仕団等の主催する事業に職員を派遣、指導をおこなった。

・奉仕団主催行事

長井市赤十字奉仕団総会

実施日	4月4日(土)	場所	ケアハウスウェルフェア慈光園
参加者	奉仕団員外	148名	150名
	支部職員	2名	

白鷹町こぶし会赤十字奉仕団総会並びに研修会

実施日	5月1日(金)	場所	鷹野湯温泉 パレス松風
参加者	奉仕団員外	30名	32名
	支部職員	2名	

山形点訳赤十字奉仕団総会

実施日	6月1日(月)	場所	村山保健所
参加者	奉仕団員外	37名	39名
	支部職員	2名	

山形レスキュー・サポート・バイク赤十字奉仕団総会

実施日	6月12日(金)	場所	山形市内
参加者	奉仕団員	18名	19名
	支部職員	1名	

赤十字青年奉仕団基礎研修(山形大学青年奉仕団)

実施日	10月1日(木)	場所	山形大学 小白川キャンパス
参加者	奉仕団員	10名	12名
	支部職員外	2名	

白鷹町こぶし会赤十字奉仕団主催県立荒砥高等学校との研修会

実施日	11月20日(金)	場所	県立荒砥高等学校
参加者	奉仕団員及び荒砥高校生徒	28名	30名
	支部職員	2名	

山形大学青年赤十字奉仕団講習会(山形大学青年奉仕団)

実施日	11月29日(日)	場所	山形ロジスティクス・センター
参加者	奉仕団員	5名	8名
	支部職員外	3名	

三川町赤十字奉仕団総会

実施日	3月19日(土)	場所	三川町社会福祉センター
参加者	奉仕団員	20名	22名
	支部職員外	2名	

(5) モデル奉仕団の指定

モデル奉仕団として3年間指定し、積極的な活動を展開している。

指定年度	奉仕団名	テーマ
平成25年度～27年度	酒田市本楯赤十字奉仕団	地域における奉仕活動
平成26年度～28年度	東根市蟹沢赤十字奉仕団	地域における奉仕活動
平成27年度～29年度	鮭川村赤十字奉仕団	地域における奉仕活動

6 広報活動の展開

赤十字活動の普及を図るため、県内各報道機関と連携し、広報活動を実施した。

- ・全国広報用CM(テレビ・ラジオ)を、赤十字運動月間(5月)中に報道機関5社の協力を得て展開
- ・県内広報用新CM(テレビ・ラジオ)を、報道機関5社の協力を得て展開(通年)
- ・赤十字運動月間用広報紙「赤十字やまがた」を発行 (発行部数 381,000部)
- ・赤十字運動月間新聞広告での広報を実施(平成27年5月8日・山形新聞 発行部数210,000部)
- ・5月8日にホームページをリニューアルし、支部事業等について公開(通年)
- ・本社作成の赤十字NEWSを活用した情報提供(毎月発行)
- ・山形花笠まつりパレード参加を通じたPR活動(8月5日)
- ・赤十字フェスタやまがたの開催(10月31日)
- ・平成27年度赤十字関係者の集い「もっとクロス!やまがた」の開催(2月10日)
- ・第21回日本集団災害医学会・学術集会における赤十字PRブース設置と救急車両展示(2月27日～29日)

7 血液事業の推進

献血者の確保

血液事業は、県民の健康と生命を守る役割を担っており、県、市町村並びに関係団体とも連携しながら啓発活動を行い、輸血用血液製剤の確保に努めた。

・献血者数 37,554 名 (27年度目標 41,300 名)

8 弔詞等の奉呈

社費を納められた社員が亡くなられた際に奉呈する弔詞及び絵ローソクを、地区分区に配布した。

種類	地区分区への送付数
絵ローソク (2本組)	9,300 セット
弔詞	10,740 部

9 義援金等の受付状況

◇国際救援金

(3月31日現在)

救援金の種類	件数	金額
国際救援金	4 件	33,760 円
中東人道危機救援金	26 件	55,017 円
2014年西アフリカ エボラ出血熱救援金	34 件	106,003 円
2015年南太平洋サイクロン救援金	44 件	91,648 円
2015年ネパール地震救援金	93 件	4,631,455 円
NHK海外たすけあい寄附金	273 件	1,289,259 円
計	474 件	6,207,142 円

◇国内義援金

義援金の種類	件数	金額
東日本大震災義援金	132 件 (6,389 件)	4,644,420 円 (1,864,239,503 円)
屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金	83 件	230,245 円
平成27年台風18号等大雨災害義援金	59 件	1,088,832 円
平成27年台風21号与那国町災害義援金	80 件	147,132 円
長野県神城断層地震災害義援金	12 件	25,775 円
計	366 件	6,136,404 円

※()内は、受付開始からの累計受付件数及び受付額

平成27年度一般会計歳入歳出決算の概要

歳 入

(△印：減額)

科 目	予算現額(円)	決算額(円)	予算現額に比し増減(円)	内 訳
社 資 収 入	233,338,000	253,745,556	20,407,556	個人及び法人から拠出いただく社費及び寄付金
一般社資収入	219,733,000	224,990,257	5,257,257	社 費 収 入 183,836,536円 寄付金等収入 38,494,262円 指定事業社資 1,050,000円 個人住民税控除対象海外救援金 1,609,459円 (2015年ネパール地震救援金)
法人社資収入	13,605,000	28,755,299	15,150,299	指定事業社資 4,400,000円 (災害救護用資材の整備等) その他社資 24,355,299円
補助金及び交付金収入	7,661,000	10,162,000	2,501,000	事業振興交付金収入
繰入金収入	7,610,000	1,609,459	△ 6,000,541	個人住民税控除対象海外救援金 1,609,459円 (2015年ネパール地震救援金)
資産収入	0	30,000	30,000	車両売却収入
雑収入	6,145,000	4,019,735	△ 2,125,265	救急法等講習会負担金及び青少年赤十字行事参加負担金
前年度繰越金	4,500,000	10,813,671	6,313,671	前年度繰越金
歳 入 合 計	259,254,000	280,380,421	21,126,421	

歳 出

科 目	予算現額(円)	決算額(円)	不用額(円)	内 訳
災害救護事業費	18,755,000	18,714,805	40,195	
災害救護指導事業費	11,568,000	11,536,261	31,739	救護訓練等救護活動費、災害見舞金
災害救護整備費	7,187,000	7,178,544	8,456	災害救護用資器材整備費、災害救護資器材整備費
社会活動費	63,744,000	58,481,458	5,262,542	
救急法等普及費	20,931,000	19,794,795	1,136,205	救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習普及事業費 【不要額理由】人件費の減
奉仕団活動費	18,166,000	18,121,791	44,209	奉仕団活動費、リーダー養成等奉仕団育成費
青少年赤十字活動費	18,834,000	16,207,213	2,626,787	青少年赤十字国際交流事業費、青少年赤十字の育成費 【不要額理由】韓国交流事業の中止(行き)
血液事業費	5,813,000	4,357,659	1,455,341	血液事業普及経費、献血推進費 【不要額理由】人件費の減
国際活動費	6,643,000	2,641,459	4,001,541	カンボジア教育支援事業費、国際救援のための支部負担金 個人住民税控除対象海外救援金(2015年ネパール地震救援金) 【不要額理由】カンボジア教育支援事業の中止
指定事業地方振興費	2,660,000	2,659,459	541	地区区分災害救援車両設置助成費 個人住民税控除対象海外救援金(2015年ネパール地震救援金)
地区区分交付金支出	43,783,000	43,782,919	81	地区区分への事務費及び事業費の交付金 ・事務費交付金(地区区分に対し社資募集額の10%を交付) ・事業費交付金(地区区分に対し社資募集額の10%、 郡地区に対し管内社資募集額の1.8%を交付)
社業振興費	31,016,000	30,488,961	527,039	
社業振興費	21,401,000	21,379,569	21,431	社員管理費、社資募集費、有功章等表彰経費
広報活動費	9,615,000	9,109,392	505,608	広報活動費 【不要額理由】カンボジア教育支援事業中止にかかる 新聞広告の中止
積立金支出	6,874,000	6,873,160	840	退職給与資金特別会計積立金
総務管理費	45,049,000	42,926,034	2,122,966	評議員会議費、旅費、需用費、業務運営費 社会保険料等負担金 【不要額理由】人件費の減、保険料負担金の減
資産取得及び 資産管理費	3,727,000	2,434,432	1,292,568	庁舎保守委託料等維持管理費 【不要額理由】会館設備等修繕費等の減
本社送納金支出	37,003,000	37,002,914	86	本社への社資送納金(指定事業社資収入を除く社資収入額の15%)
歳 出 合 計	259,254,000	246,005,601	13,248,399	予算執行率 94.9%

歳入歳出差引残額 34,374,820円 (翌年度繰越額)